

有眼側体色が黄金色のヒラメの漁獲記録 (短報)

二 平 章

Catch Record of Gold Colored Japanese Flounder, *paralichthys olivaceus*

Akira NIHIRA

1997年3月に底曳船より有眼体色が黄金色のヒラメの漁獲報告があり、魚を購入して調査、記録した。体色は有眼側全体が黄金色で、無眼側は人工種苗特有の黒斑はまったく認められず、正常であった(図1, 2)。天然魚のアルビノ個体で認められる眼色の異常も認められなかった。茨城県水産試験場では20年間にわたりヒラメの各種調査事業を実施してきているが、このような体色のヒラメの採捕例はこれまでになく、また人工生産種苗のなかでも発見例は無いことから、きわめて稀な発見事例と

考えられることから記載して記録しておく。捕獲記録は以下のとおりである。

漁獲年月日: 1997年3月18日

漁獲場所: 利根川河口7マイル沖 水深30m

漁獲船名: 波崎漁協所属黒田丸

漁法: 小型底曳網

ヒラメの大きさ: 全長 71cm 体重 3.6kg



図1 捕獲されたヒラメの有眼側の体色

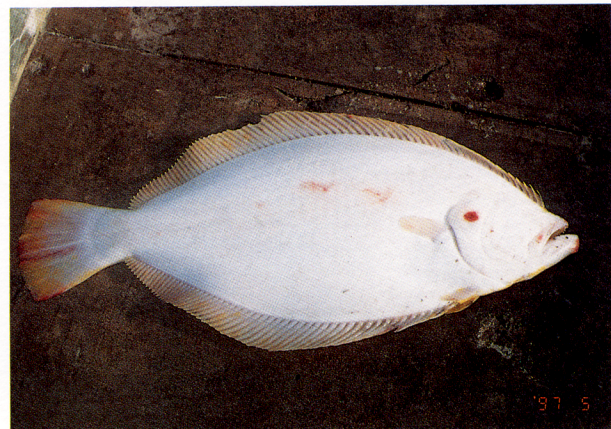


図2 捕獲されたヒラメの無眼側の体色